

Leipziger Streichquartett

Listen and you will hear!



東日本大震災復興支援

ライブツィヒ弦楽四重奏団 コンサート

日時：5月6日（金）13時半（13時開場）

場所：聖ドミニコ学院 聖堂（青葉区角五郎2-2-14）
仙台市バス「ドミニコ学院前」

曲目：Ludwig van Beethoven "Große Fuge"

弦楽四重奏曲第13番変ロ長調作品130 大フーガ

Richard Wagner "Siegfried Idyll"

ジークフリート牧歌

Johannes Brahms Streichquartett B-Dur, op.67

弦楽四重奏曲第3番変ロ長調 作品67

仙台日独協会では、事前に入場整理券を配布しますので、下記にお申し出ください。

主催：仙台日独協会 ☎/fax 022-262-7430 メール:nichidoku.jimu@gmail.com

特別協賛：株式会社ネクスコ・エンジニアリング 東北

LEIPZIGER STREICHQUARTETT
ライプツィヒ弦楽四重奏団

名門のライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦 楽団の首席奏者達が 1988 年に結成したこの 弦楽四重奏団の音楽は、古典的な伝統的弓使い で紡ぎだした響きが、落ち着いたほっとするような気分を引き込んでくれる。現代音楽を演奏 しても、陰影の深い音色と活気のある優雅さで、しっとりとして古都ライプツィヒを思い出させてくれる。これまで数々の賞を受賞し、80 枚を超える CD を発表し、カール・ライスター(クラリネット)、ミヒャエル・ザンデルリンク(チェロ)、ヘルムート・ローデ(ヴァイオリン)、クレツマー音楽の王者と言われたジオラ・ファイトマン、クリスティアン・ツァハリアス(ピアノ)、オラフ・ベア(バリトン)、クリスティアネ・エルツェ(ソプラノ)らと共演しており、レパートリーは 200 作品以上で広範にわたるが、どの作曲家に対しても、様式的に様々なアプローチをする事を重要視している。

コンラート・ムック(第一ヴァイオリン) Conrad Muck

ドレスデンに生まれ、5 歳からヴァイオリンを始めた。ドレスデン音楽専門学校にかよい、ベルリン音楽大学やフライブルク音楽大学で、ヴェルナー・ショルツ教授、ヴォルフガング・マルシュナー 教授のもとで研鑽を積み、1988 年フライブルのルードヴィヒショーコンテストで優勝し、1991 年にはコンスタンツのボーデン湖音楽コンクールで優勝、1992 年から 2009 年まではペーターゼン四重奏団でヴァイオリンを弾き毎年チューリッヒ音楽大学のマスターコース、ロンドンの王立音楽大学(RCM) やバークレー大学(CA ン)に招かれている。使用しているのはトリノのジョヴァンニ・バティスタ・グアダニニの 1741 年製作の楽器。

ティルマン・ビュニング(第二ヴァイオリン)Tilman Büning

1968 年バルト海にあるリューゲン島のベルゲンで生まれ、7 歳からヴァイオリンを始める。1984 年から 1990 年までフェリックス・メンデルスゾーン 音楽大学でゲルハルト・ボッセ教授に師事。1990 年から 1993 年までゲヴァントハウス管弦楽団の第 2 ヴァイオリン首席奏者を務めた。今回の演奏旅行では、広報の役目を果たした。使用楽器は 1763 年ヴェネツィアのみケーレ・デコネットの製作による。

イーヴォ・パウアー(ヴィオラ) Ivo Bauer

1967 年ライプツィヒに生まれ、5 歳でヴァイオリンを始める。1984 年にヴィオラに転向し、1985 年から 1990 年までフェリックス・メンデルスゾーン音楽大学ディートマー・ハルトン教授に師事。1989 年マルクノイキルヒェン国際コンクールに入賞。1990 年から 1993 年までゲヴァントハウス管弦楽団でアシスタント・ソロヴィオラ奏者を務めた。1997 年から 2000 年まで母校で教鞭をとった。使用しているのは 1860 年ジェノヴァのジュゼッペ・スカランペラ製作の楽器。

マティアス・モースドルフ(チェロ) Matthias Moosdorf

1965 年ライプツィヒに生まれ、1991 年フェリックス・メンデルスゾーン音楽大学でチェロをティム教授とヴェーバー教授に、室内楽をボッセ教授に学ぶ。1991 年から 2001 年までライプツィヒ室内管弦楽団のソロチェリストを務める。1996 年からフェリックス・メンデルスゾーン音楽大学演劇大学でチェロと室内楽を指導している。使用楽器は 1697 年クレアモアの アンドレス・ガールネリウス作。